

4/28-5/4#20:すべてを含む、命を与える霊としてのすべてを含むキリスト(神の完全な福音のすべてを包括する祝福の集大成)を受け、経験し、享受する道:CP1:II.ガラテヤ人への手紙が提示しているキリストは、人性にある三重の子孫です。それは、神がご自身をキリストの信者たちの中へと分与して、神のエコノミーを完成するためです:A女の子孫としてのキリストは、肉体と成ったキリストを指しています。すなわち、神全体がご自身を人性の中へと分与することを通して、完全な人と成りました。それは、サタンを滅ぼし、キリストにある信者たちを罪と死から救うためです。創3:15 また、私は敵意を置く。おまえと女との間に、またおまえの子孫と女の子孫との間に...ガラテヤ4:4 しかしその時が満ちて、神は御子を遣わし、一人の女から生まれさせ、律法の下に生み出されました。Bアブラハムの子孫としてのキリストは、地のすべての家族の祝福のためです。アブラハムの唯一の子孫は、最後のアダムとして、命を与える霊と成りました。彼はアブラハムの祝福(良き地の実際)であり、それはご自身をキリストの信者たちの中へと分与して、彼らをアブラハムの団体の子孫とするためです。3:16 さてアブラハムに対して約束が語られ、また彼の子孫にも語られました。神は、また子孫たちにと、多くの人を指してではなく、一人を指して、「またあなたのあの子孫に」と言っておられます。それはキリストのことです。29 そして、あなたがたがキリストのものであるなら、アブラハムの子孫であり、約束による相続人なのです。Cダビデの子孫としてのキリストは、復活したキリストを指しています。彼は神の新約エコノミーを遂行し、手順を経た三一の神を彼のからだの肢体の中へと分与して、彼の復活の中で、彼の永遠の王国において、彼らを彼の王職にあずからせます。ローマ1:3 彼の御子に関するものです。この方は、肉によればダビデの子孫から生まれ。CP2:III.ガラテヤ人への手紙は、すべてを含む、命を与える霊としてのすべてを含むキリスト(神の完全な福音のすべてを包括する祝福の集大成)を受け、経験し、享受する道を啓示しています:Aすべてを含む、命を与える霊としてのすべてを含むキリストを受け、経験し、享受する道は、神がキリストを私たちの中に啓示することによります。私たちは自分が見たキリストにしたがって、クリスチャン生活をします。ガラテヤ1:15 ところが、母の胎内にある時から私を選び分け、ご自身の恵みを通して私を召してくださった神が、喜んで、16 御子を私の中に啓示し、異邦人の間に、御子を福音として宣べ伝えるようにされた時...3 私たちが自分の観念を下ろし、

心を主に向け、霊に注意を払い、祈りの霊と雰囲気の中で御言に時間を費やすなら、キリストは私たちの中に啓示され、私たちの中に生き、私たちの内に形づくられます。a 私たちは自分の観念を下ろさなければなりません。すべての観念は、霊的であっても肉적であっても、おおいです。この内側の啓示は私たちの霊の中にあり、私たちの照らされた思いを通してあるようになります。b 私たちは心を主に向けなければなりません。私たちが心を主に向ければ向けるほど、この時代の神は私たちの命また存在の中でますます立場を持たなくなり、私たちは天的な光の照らしの下にいて、この生けるパースンの内なる啓示を受けます。2コリント3:16 しかし、彼らの心が主に向く時はいつも、そのおおいは取り除かれます。c 私たちは自分の霊を顧慮し、自分の霊に注意を払わなければなりません。私たちの霊の中で、その霊はキリストを私たちの中で照らし、啓示し、キリストについて私たちに語っています。d 私たちは御言を祈り読みしなければなりません。エペソ6:17 さらにその霊の剣、すなわちその霊である神の言葉を、18 すべての祈りと願い求めによって受け取りなさい。私のクリスチャン生活は、私が毎日見るキリストから出てきます。キリストは、私たちの中へと啓示されるだけではなく、私たちの中で啓示されなければなりません。... 私たちが主イエスを信じた日から、私たちの中で、神がキリストを啓示し続けています。この啓示することは、決して終わりません。証 私私の心に宗教観念などの何層もの覆いがかかっており、キリストの啓示を受ける妨げとなっていたことを証します。私は働き始めて最初の12年間、キリストが会社の社長の社長であることを教理的には理解していましたが、実際的には覆いがかかっており、理解できていませんでした。例えば、35〜42歳の間、ある製薬会社に勤めていましたが、41歳の時に他社に買収されました。そのため、現場は大混乱に陥り、私は心の中で、「このような大変化の時には、主も私を助けられない」と不信仰につぶやいていました。召会生活においては本山集会所を建てたばかりの時、ローンを払わないといけないう、大変化の中でどうやってキリストを生きたいのか全く分からず、毎日不安でした。しかし、このM&A(企業買収)をきっかけに、私は成熟産業である医薬品業界から成長期にあった医療機器業界に移り、ビジネス・パースンとして大きく成長する機会を得ました。この主が用意した環境がなければ、学歴でかなり劣っており、他者より5年遅れて就職した私に機会は100%ありませんでした。

それまで勤めていた製薬会社では、私は新医薬品の開発と新医療機器の開発の両方に携わっていました。しかし、この時には医薬品と医療機器の仕事の両方をやっていることが後にどれだけ益になるか、分かっていませんでした。

岡田姉妹が先に、私が数か月後、転職した先は医療機器最大手の会社でした。転職直後、2005年に医療機器に関する政府の大幅規制強化があり、医療機器についても医薬品並みに規制が厳しくなりました。私たちは医薬品と医療機器の両方の深い知識があったので、医療機器の規制強化にすぐに対応できました。医薬品から医療機器にかなりの人が流れてきていましたが、医薬品だけをやってきた人は医療機器への応用がきかなかったので、直ぐに対応できたのは私たちだけでした。私たちは当時、医療機器業界においてユニークな才能となっていました。企業買収で会社が混乱した時、私は不信仰でしたが、神は私にとって万事を益としてくださいました。優秀な部下である岡田姉妹(彼女は私と違い、学歴も職歴も優れていました)も備えてくださいました。主の憐みに感謝します。私は祈りました、「**おお主イエスよ、私はあなたの憐みのゆえに今ここにいます。私は以前、宗教観念の覆いは大部分がすでに取り除かれたと考えていましたが、依然として多くの宗教観念があり、あなたが私の中に啓示され、私の中に生きることを妨げていました。主よ、私の不信仰を赦してください。今、私は心を完全にあなたに向けます。宗教観念の覆いを取り除いてください。私の中に新鮮にキリストを啓示し、キリストが私の中に生きるようにしてください。**」

その後50歳の時、私の業績が評価され、50周年記念誌に収載されました。しかし、このゆえに日本法人の役員たちは私に嫉妬し、迫害し始め、私は降格させられました。私は大変失望し、心の中でつぶやきました、「おそらく、私のビジネス・パースンとしてのキャリアはここで終わる」。しかしこのことのゆえに、私は別の大手医療機器会社に転職し、更に多くの権限が与えられ、多くの新しい医療技術を日本に導入することができました。私は自分に未だ多く宗教観念の覆いがあることに気付く、大変失望しましたが、祈りました、「**おお主イエスよ、私を憐れんでください。私は未だにこのような哀れな状態です。しかし、私は自分を見ず、あなたを見つめます。心の向きを哀れな自分自身ではなく、あなたに向けます。私の心を覆うすべての覆いを取り除いてください。更に多くのキリストを私の中に啓示し、キリストが**

私の中で生き、更に形づくられるようにして下さい。」これらの経験は、キリストが私の内側で生きることの助け、その後の召会生活の大きな助けとなりました。岡田姉妹も2010年の末に救われました。彼女は一緒に仕事をするようになった1995年から、年に2回は私の家に招いて、妻と義理の両親がご馳走して福音を伝えていました。15年かかりましたが、彼女は救われました。

CP3:III.Hすべてを含む、命を与える霊としてのすべてを含むキリストを受け、経験し、享受する道は、その霊の願いと目的にしたがってその霊へとまき、その霊が願っていることを完成することによります。**ガラテヤ6:7** 欺かれてはなりません。神は侮られるような方ではありません。なぜなら、人がまくものは何であれ、それをまた刈り取るからです。**8** 自分の肉へとまく者は、肉から腐敗を刈り取りますが、その霊へとまく者は、その霊から永遠の命を刈り取ります。私たちの人の生活はまくことです。私たちがすることは何でも、種をまくことです。そして、私たちがまいたものは、何であれ刈り取ることになります。高くても良いものをまくなら、同じものを収穫することができます。卑しくて低いものをまくなら、同じものを収穫することを予想しなければなりません。私たちが日常生活の中ですることすべては、まくことです。... **ガラテヤ6:8**は、「自分の肉へとまく者は、肉から腐敗を刈り取りますが、その霊へとまく者は、その霊から永遠の命を刈り取ります」と言います。私たちは、正しくまこうと努力しなければなりません。もし私たちがその霊にしたがってまくなら、私たちはその霊にしたがって刈り取るようになります。**すべてを含む、命を与える霊としてのすべてを含むキリストを受け、経験し、享受する道は、キリストの十字架を誇り、新創造を生きることによります。6:14** しかし、私には、私たちの主イエス・キリストの十字架以外に、誇るようなことが断じてあってはなりません。その方を通して、この世は私に対して十字架につけられ、私もこの世に対して十字架につけられてしまったのです。**15** 割礼も無割礼も重要ではありません。重要なのはただ新創造です。新創造は、宗教でも非宗教でもありません。キリストの十字架は、私たちの誇りです。私たちは、すべてが十字架上で終わったという事実を誇ります。車に対する愛情、大きな家に対する愛情、流行のファッションに対する愛情は、みな終わりました。すべては「取り除かれ」ました。これが、私たちの誇りです。今、私たちは新創造を生きています。